

No.	015	—	1001	事務事業名	道路橋梁維持事業			細事務事業名				公的関与	3		
PLAN	課名	建設課		係名	土木係		電話番号	089-964-4472		メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	(3) 市内道路網の整備促進						
	事業の対象	市が管理する道路等（道路利用者）						根拠法令							
	事業の目的	最終的	市内道路網の安全性・走行性の向上を図り、快適な道路空間を提供する。					今年度	市が管理する道路施設の維持修繕及び舗装補修を実施する。また、カーブミラー、ガードレールの設置及び植樹帯の管理、道路除草等を行い、快適な道路空間を提供する。						
	活動内容	①	道路施設等の維持修繕を計画的に行う。					④	計画的に市道の植樹帯管理、道路除草を実施する。						
		②	市内一円の市道等の舗装補修を行う。					⑤	道路パトロール等で発見した危険箇所や、市民からの要望・苦情箇所について迅速な修繕対応を行う。						
		③	市内一円の市道等にカーブミラー、ガードレールの設置を行う。												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
		道路施設等の修繕箇所数					箇所	目標	40	40	60				
舗装補修箇所数					箇所	目標	90	90	90						
苦情処理件数		道路管理等に関する苦情			件	目標									
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	土木			費				
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金		27,995 千円		21,283 千円		8,965 千円							
		地方債		8,300 千円		13,100 千円		2,900 千円							
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源		142,660 千円		143,573 千円		154,810 千円							
	計(A)		178,955 千円		177,956 千円		166,675 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.097 人	18,619 千円	3.647 人	22,360 千円	3.647 人	22,761 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		197,574 千円		200,316 千円		189,436 千円								
CHECK・ACTION	一次評価者	土木係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）													
	必要性	市が管理する道路施設等の維持修繕は、市民生活に直結した事業であり、必要性の高い事業です。													
	有効性	全市道について適正な維持管理が求められる中、区長要望等を通じ優先度を勘案して事業を実施することで、限られた予算を有効的に活用しています。													
	達成度	道路施設の維持修繕、舗装補修、道路除草等は、優先度に応じて予算の範囲内で実施しており、これを継続する事で順次目標の達成を図っています。													
	効率性	道路施設等の維持修繕、舗装補修等ある程度一括して発注する事により、他事業との調整や緊急対応が容易となり、効率的な事業実施が可能となっています。													
	当面の課題	道路施設（橋梁・トンネル・舗装・道路構造物等）の経年変化による老朽化が着実に進んでおり、今後更に修繕費用の増加が見込まれます。また、近年、これまでは地域で対応してきた除草や道路側溝の清掃等の維持管理が、高齢化等により増加傾向にあります。													
	改革計画	橋梁・トンネルについては、長寿命化修繕計画を立て事後の修繕から予防的修繕へと転換を図り、できる限り補助事業を活用し、コスト削減に努めます。このままでは今後維持管理費は増加するため、より一層緊急性・危険度による優先すべき修繕を検討する必要があります。													
	二次評価者	建設課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	二次評価での指摘事項	安全・安心な通行を維持・確保するため、道路施設の適切な維持管理が必要であることから、地元要望や道路パトロールにより、迅速な修繕対応を行ってください。 道路除草については、地域住民の協力を可能な範囲で活用するとともに、他市町の取り組み事例を参考に対応策を検討してください。 橋梁・トンネル等については、長寿命化修繕計画によりライフサイクルコストの削減を図ってください。													

No.	015	—	1026	事務事業名	スマートインターチェンジ整備事業	細事務事業名		公的関与	3						
PLAN	課名	建設課	係名	土木係	電話番号	089-964-4472	メールアドレス	kensetu@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ハード事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度 ~ 令和 5 年度						
	総合計画	政策目標	第2章 安全で快適な社会基盤のまち		政策項目	1 安心・安全な都市基盤の整備		主要施策	(3) 市内道路網の整備促進						
	事業の対象	(仮称) 東温スマートインターチェンジ				根拠法令	高速自動車国道法								
	事業の目的	最終的	(仮称) 東温スマートインターチェンジを整備することで、県内全域の防災・救急医療体制の強化及び企業誘致による雇用創出等の地域経済活性化を図る。				今年度	詳細設計の実施及び用地測量の着手により、事業進捗を図る。							
	活動内容	①	(仮称) 東温スマートインターチェンジの整備。(市道付替えを含む。)				④								
		②	アクセス道路: 市道田窪西岡線(国道11号田窪交差点)の右折レーン整備。				⑤								
		③	アクセス道路: 市道牛渕野田線(国道11号北野田交差点)の右折レーン整備。												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				事業の性質上、指標設定になじまない。			目標								
					実績										
					目標										
					実績										
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	土木			費					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	7,650 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	6,500 千円									
		その他特定財源		0 千円	6,679 千円	41,500 千円									
		一般財源		33,024 千円	43,390 千円	3,638 千円									
	計(A)		33,024 千円	50,069 千円	59,288 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.481 人, 2,892 千円	0.422 人, 2,587 千円	0.422 人, 2,634 千円									
臨時職員工数・経費		0.000 人, 0 千円	0.000 人, 0 千円	0.000 人, 0 千円											
全体事業費(A+B)		35,916 千円		52,656 千円	61,922 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	土木係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	本スマートインターチェンジは、上記の事業目的を達成するため、地元関係者との調整を図りながら、本市と高速道路会社との共同事業で整備するものです。													
	有効性	事業地周辺には防災拠点(陸上自衛隊松山駐屯地、県警機動隊基地)、複数の救急医療機関、また、隣接地で造成中を含む複数の工業団地が立地しており、本スマートインターチェンジの整備により、各拠点から高速道路へのアクセス向上が図られます。													
	達成度	令和5年度末の供用を目標に、鋭意事業を実施しています。													
	効率性	平成30年度に国の新規事業許可を受け、今年度からは国庫補助費を有効活用しています。また、事業項目毎に高速道路会社と受委託契約を締結し、効率的に事業を実施しています。													
	当面の課題	今後、用地取得後に工事を実施する予定ですが、そのためには地元関係者のご理解、ご協力及び今後増大する事業費の確保が不可欠です。													
	改訂計画	地元関係者の方々に随時ご説明等を行います。また、事業費の確保については、国等の関係機関に対して引き続き要望活動を行います。													
	二次評価者	建設課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実	
	二次評価での指摘事項	令和5年度末の供用目標に向けて順次整備を進めることとするが、計画どおり事業を進めるためには各年度の事業費確保が必須条件であり、県・ネクスコと連携し事業費確保に努めてください。また、国等の関係機関へ、引き続き強く要望活動を行う必要があります。													